

記者発表資料

平成 29 年 11 月 10 日

川崎町地域振興課 商工・観光係

東北大学大学院工学研究科

インフラ・マネジメント研究センター

株式会社 ユーメディア

## 観光振興をテーマとした産学官連携による新たな取り組み プログラム第2弾「人の暮らしをつなぐ橋のひみつ！」について

本年度より川崎町、東北大学大学院工学研究科インフラマネジメントセンター、株式会社ユーメディアの産学官が連携し、インフラ資源を中心とした観光資源の掘り起こし・磨き上げ、そのプロモーション効果の可視化を図る取り組みを進めてまいりました。

来る 11 月 18 日「土木の日」、公益社団法人 宮城県建設センターの後援のもと、第2弾のプログラムとして「人の暮らしをつなぐ橋のひみつ！」を実施いたしますのでお知らせいたします。

一般公募によるファミリー層を対象に、私達の暮らしに密接に関係しているインフラの維持・管理の重要性をわかりやすく学び、体験していただくプログラムとなります。

### 記

日時：平成 29 年 11 月 18 日（土）「土木の日」 9:45～正午頃

場所：川崎町交流促進施設 るぼぼかわさき・ふれあい橋（川崎町大字今宿）

対象者：ファミリー層（小学生以上）

主催側出席者：川崎町 地域振興課課長 小林 志郎

東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センター センター長 久田 真

株式会社ユーメディア 取締役 大久保 泰之

後援団体：公益社団法人 宮城県建設センター

内容：◎講演 インフラの維持管理重要性、橋の歴史・構造など

◎体験プログラム ふれあい橋内部探検・高所作業車試乗体験・橋梁点検見学

\*詳しいスケジュールは別紙参照

### 問い合わせ先

川崎町地域振興課 商工・観光係 橋本 歩 電話：0224-84-2111（内線 1225）

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター 鎌田 貢, 高橋 香

電話：022-721-5503

株式会社 ユーメディア 三浦 宏平

電話：022-224-5151

## プログラムの内容 ～スケジュール～

9:45～

**講話①**「インフラのお話」講師:久田 真先生

**講話②**「橋のお話」講師:宮城県建設センター

\*体験プログラム注意説明、移動

10:15～

### <体験プログラム>

第1班 ふれあい橋の内部探検


第2班 高所作業車試乗体験

第3班 橋梁点検見学(特殊点検車で点検作業を見学します)

\*各10名に分かれ、交互に実施します。

### 閉会ごあいさつ & みんなで記念撮影

12:00 終了・解散

|  |  |
|--|--|
|  | <p>スペシャリスト・探検ガイド</p> <p><b>久田 真先生</b></p> <p>京都大学工学部卒業。博士（工学）。<br/>専門はコンクリート工学・維持管理工学。<br/>東北大学大学院工学研究科土木工学専攻教授。東北大学インフラ・マネジメント研究センター センター長。<br/>産学官が連携した研究、教育、技術開発ネットワークを創出し、東北地方のインフラを包括的に維持管理できる枠組みを構築するべく、活動中。</p> |
|--|--|

## 交通のご案内

るぼぼの森(川崎町交流促進センターるぼぼかわさき) 笹谷 IC から約 2km/2 分



※写真はイメージです。

つこいで散歩

# 人の暮らしをつなぐ 「橋のひみつ」ツアー

インフラ観光体験 part:2



無料ツアー  
11/18(土)  
開催

「橋」内部に潜入し、高所作業車に乗ってみよう！

暮らしを支え地域をつなぐ「橋」

—みなさん「橋の中に入れる」って知ってましたか？  
インフラ施設の魅力を訪ねる体験観光の第2弾は、笹谷  
峠にある「ふれあい橋」を訪ねます。

橋と地域の人口には大きな関係がある!?

もし橋がなくなったら…！

橋はどうやって架けるんだろう？

橋の点検に使うクルマ=高所作業車に

体験試乗してみよう！

—私たちの暮らしに欠かせない橋のひみつと知識がわか  
る「インフラ体験観光」のチャンス！

紅葉の笹谷峠も  
見どころですよ。



橋の内部に  
潜入できる、  
めったにない  
チャンス！



これが  
「高所作業車」。  
ゴンドラに乗っ  
てみませんか？